

番号	8	事業名	補完的な道路	市町村名	茅野市	路河川名	(都)仲町通線他2線	箇所名(ふりがな)	永明(えいめい)
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>○茅野市中心市街地では、都市基盤整備と商店街等の活性化が課題となっており、中心市街地整備改善活性化法に基づく「基本計画」を平成11年に作成、計画的な都市基盤整備の方針を定めた。この計画に基づき駅周辺地域の再構築のため、都市計画道路仲町通り線他の都市基盤整備が必要となった。</p> <p>○当該路線は、平成11年、平成12年と地元説明会を実施し、平成12年度に都市計画決定の変更を行った。また、事業進捗に併せて平成16年度より地元地区協議会との調整をはかり、仲町通線については平成17年度、上川橋線については平成21年度に工事説明会を行っている。</p> <p>○平成12年度より事業化に向けた計画業務に着手、平成14年度に仲町通線、大年線の都市計画事業認可を取得、平成17年度には、茅野駅西口土地区画整理事業に併せて、上川橋線の都市計画事業認可を取得した。しかし、平成22年度の事業再評価によって、JR交差部の改良事業について見直しを実施し、事業規模を縮小させた。</p>					②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価
	<p>植樹帯の設置により、都市緑化が図られ、沿道環境を整備することができた。</p> <p>電線の地中化により、良好な沿道景観を創出するとともに、防災機能の強化がはかられた。</p>						A		
事業目的	<p>仲町通線及び上川橋線は中央自動車道諏訪I.C.及び国道20号と茅野駅周辺の中心市街地を結ぶ主要な幹線道路である。</p> <p>また、当該路線は、沿線に商店や事業所、文化会館等の公共施設が立地しており、茅野市の中核をなす道路である。事業区間は、幅員が狭小で歩道が未整備であり、安全な歩行空間の確保が求められていた。さらには、隣接する商店街等の活性化も求められていた。</p> <p>このため茅野市では、「基本計画」を策定し、中心市街地の活性化を図るために、本街路事業に併せて面的整備である土地区画整理事業も実施している。</p>					③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価
	<p>街路樹の管理については、地域企業((株)東城組)とアダプトプログラム(H25.4.1)を締結。</p> <p>街路灯(防犯灯)の維持については茅野市が管理し、電気料金については地元商業会(駅前商業会)が負担をしている。</p>						A		
事業概要	当初工期	H12~H19	費用対効果(当初時)	1.52	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	最終工期	H12~H23	費用対効果(評価時)	1.50	上段:当初/下段:最終	国庫	その他	県債	一般財源
	当初計画内容(主な工種)	道路築造工 延長 L=802.0m、幅員 W=16.0~17.0m			3,900,000	2,145,000	390,000	1,228,000	137,000
	最終事業実績(主な工種)	道路築造工 延長 L=1,048.0m、幅員 W=12.0~17.0m			5,635,580	3,099,569	563,558	1,775,000	197,453
④地域住民等の評価	<p>地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)</p> <p>整備区間は、通学路であり、道路幅幅に併せて歩道が整備されたことによって、安全かつ快適に歩行することが出来るようになった。</p> <p>また、御柱等のイベントの際にも、有効に活用できる空間となり、地域の活性化を取り戻せると思われる。</p>						B		
事業期間の延長、短縮理由と分析	<p>茅野市中心市街地の活性化を図るため、土地区画整理事業の進捗に併せて、事業路線の追加を行ったことにより、工期が延長された。</p>					⑤事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している C:特になし)		評価
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	<p>茅野市中心市街地の活性化を図るため、土地区画整理事業の進捗に併せて、事業路線の追加を行ったことにより、事業費が増となった。</p>					改善措置の必要性	特になし。		
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)				評価	今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	<p>駅前地域の更なる円滑な交通及び安全な歩行空間を確保するために、上川橋線の先線について、事業化を図っている。面的整備である土地区画整理事業と併せて事業化することで、快適な都市空間の構築が出来るため、土地区画整備事業等の都市基盤整備と併せた事業の実施が重要である。</p>		
	直接的効果(定量的・定性的)	<p>○交通の利便性向上(アクセス向上、交通の円滑化)</p> <p>道路の拡幅および付加車線の整備により、円滑な車両交通の確保ができた。</p>			B				
		<p>○交通の安全性向上(歩行者等の安全確保、災害に強う道路の確保)</p> <p>歩道と車道の分離により、安全な歩行空間が確保された。</p>							
間接的効果(定量的・定性的)	<p>当該路線は、茅野駅から御柱祭で木落しを行う木落公園を結ぶ道路であるため、数千人の観光客を安全に誘導することが可能となった。</p> <p>また、お祭り等の地区行事の際には、改良された道路を使用し、歩行者天国を行うなど、広いスペースを有効に活用できた。【茅野どんぱん】【御柱祭(上社山出し)】</p>				部意見	小学生をはじめとする歩行者の安全が確保され、土地区画整理事業と併せた事業の実施により、住環境も改善されるなど事業目的が達成すると共に、地域の評価も高く、事業効果は高いと判断される。			
						行政改革課意見	交通の利便性や安全性の向上に、一定の効果が認められる。		